

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針等>

事業活動を通してあらゆるステークホルダーと協働し、継続的な経済成長・環境課題・人権尊重などの社会問題解決に積極的に取り組んで参ります。

<今期のSDGsに関する重点的な取組, 指標及び実績>

| 三側面 | 取組の状況 | 前期の指標 | 実績 |
|--|--|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 | より豊かで安心できる社会を目指し、エコアクション 21 活動(環境経営)を通して二酸化炭素排出量や廃棄物排出量などの削減に取り組めます。 | 二酸化炭素排出量 2024 年 目 標 1,342,235 KgCO2 (2021 年 実 績 1,464,171KgCO2) (2008 年 実 績 1,492,544KgCO2) | 2024 年実績 二酸化炭素排出量 1,174,032 KgCO2 前年比 6%減 廃棄物排出量 368t 前年比 20%増 |
| <input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 | 社員が生き活きと成長し活躍できる職場環境を目指し、キャリアプラン制度や健康経営を通して、退職率の削減や技術の継承などに取り組めます。 | 退職率 2024 年目標 2.80% (3 年平均) (直近 3 年間の平均 2.83%) | 2024 年実績 退職率 2.87% 直近の 3 年平均 4.03% |
| <input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 | より豊かで安心できる社会を目指し、エコキャップ運動によるワクチン提供支援や献血活動などの社会貢献活動に取り組めます。 | エコキャップ 2024 年 目標 14,000 個 (2021 年実績 12,470 個) 献血 2023 年目標 65 人 (2021 年実績 59 人) | 2024 年実績 エコキャップ 12000 個 献血 17 人 |

・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

オンライン会議の推進などで燃料使用料が減少し二酸化炭素排出量を目標より削減することができた。単年の退職率はこれまでの数値を維持できている。2022.23 年の退職率が大きく上昇したため直近 3 年の退職率も上昇してしまった。献血は実施日が研修と重なったことや業務過多により献血に参加する時間の確保が難しかったことにより参加者が大きく減少してしまった。

・ SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期のSDGs達成に向けての重点的な取組, 及び指標>

| 三側面 | SDGsに関する重点的な取組 | 指標 (更新時に向けた数値目標) |
|--|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 | より豊かで安心できる社会を目指し、エコアクション 21 活動(環境経営)を通して二酸化炭素排出量や廃棄物排出量などの削減に取り組めます。 | 二酸化炭素排出量 2027 年目標 1,138,811 KgCO2 2024 年実績より 3%減を目標設定 |
| <input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 | 社員が生き活きと働き成長できる職場環境を構築し退職率の削減に取り組めます。 | 退職率 2027 年目標 2.81% 2024 年実績より 2%減を目標設定 |
| <input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 | インターンシップ・職場体験・出前授業を積極的に受け入れ地域の学生・生徒に学び場を提供します。 | インターンシップ等受入件数 6 件 2024 年実績より 10%増を目標設定 |

事業所名:株式会社南九州マツダ

- ・「SDGsに関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

自動車販売事業者として、安心・安全な車両の提供を通じ消費者との信頼関係を構築するとともに、自動車販売店協会鹿児島支部や製造元のマツダ(株)と連携し、災害時の支援車両や支援物資の提供に積極的に取り組んでいます。

- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。